

産業部会の考える将来都市像

平成 25 年 10 月 21 日
産業部会長 岡山 金平

将来都市像は、「美しい景観に囲まれ 活気あふれるまち なかつがわ」です。

1. あるべき姿

市内企業は経営規模が拡大し、新たな企業の進出や起業により若者が働く場所が多くあり、当市で育った若者が市内にとどまってくれる、市外からも若者がきてくれて活気があること。また、恵北地域を中心に農林業の後継者がしっかり確保され、田園や森林の美しい景観が保たれていること。美しい景観が保たれていることで観光振興にもつながり、中津川市ならではのものを目当てに多くの観光客が訪れ、当市の顔である中心市街地がにぎわっていることです。

すなわち、～美しい自然はそのままに、さまざまな人や企業、それらと一緒に知識・技術や情報などが集まってきてにぎわいがあるイメージ～

2. 現状と課題

現在、中津川市では、旧市部において製造業が、恵北地区においては農林業が主な産業として展開されています。

製造業は、電気機械器具、自動車関連などが中心で、平成 22 年の製造品出荷額等は 3,066 億円で県内第 4 位の額です。しかし、中小企業が多く営業や開発、新分野へのチャレンジに力を割くことがなかなかできないとか、また、納入先の手大企業の影響を受けやすく、経営の安定化や経営基盤の強化を図ることが課題となっています。

農林業では、夏秋トマトに代表される農産物や飛騨牛、東濃ひのきが生産されています。しかし、効率的、安定的経営を行うことが困難で後継者不足や耕作放棄などによる農地の荒廃が進んでおり、間伐などの手入れの行き届かない森林が増えています。後継者を確保できる経営基盤の強化や農地、森林が持つ多機能性の観点からいかに農地、森林を守っていくかが課題となっています。

また、観光では馬籠宿をはじめ落合宿、中津川宿があり歴史的な街並みや街道文化が色濃く残っています。そして栗きんとんをはじめとする和菓子のまちとして知られています。しかし、観光の素材は沢山あるものの活かしきれておらず、観光資源を一層魅力的なものにするとともに、広域連携して多くの観光客が市内にゆっくりと留まってくれるようにすることが課題となっています。

また、当市の顔である中心市街地では、お客さんの減少による後継者不足から空洞化が進んでいます。街なかに多くのお客さんが訪れ、にぎわいを作り出すことが課題となっています。

さらには、人口減少に歯止めがかからず市外へ転出する人数が市内に転入してくる人数を上回っている状態が続いています。行政の姿勢も待ちの状態で十分な分析、対応が

できていません。また当市の各地域はまとまりが良いということが、かえって新しく入ってくる人には地域になじみづらいという面もあり、新たな人がなじみやすい雰囲気をつくり、転入しやすい環境をつくるのが課題となっています。また、リニア駅や車両基地が建設されるという千載一遇のチャンスをしっかり活かし、産業全般の活性化を図り市外への人口流出を食い止めるとともに、市外から働き手である若者を中心に多くの人が流入してくる環境、つまり当市に住んでみたいという環境を作り出すことが課題となっています。

(参考)

アンケート調査でも当市は、働く環境として魅力を感じるかの問いに「いいえ」と答えた理由で一番多いのが「働くところ、企業が少ない」との回答です。また同アンケートにおいて、満足度が低くて、取り組む必要性が高いと答えた項目では、企業立地・雇用対策が挙げられています。また満足度が低い項目として商業振興、中心市街地活性化や林業振興など産業振興の項目が上がっています。

3. 課題解決に向けた取り組み

製造業では、既存企業が行う開発や新たな業態へのチャレンジに対する支援、市外企業との繋がりづくりなどリニアに関連した企業誘致活動の強化、初期投資に対する支援など起業を促すための土壌づくりに取り組みます。

農林業では、集落営農組織の育成支援、ブランド力強化など農地の集積と担い手の確保、東濃ヒノキのブランドを活かした産直住宅建築に対する支援や森林の境界明確化による間伐等の促進、里山整備も含めた当市独自の農業振興モデル地区を設けるなど農地や森林が作り出す美しい景観を整備する観点からもその保全に取り組みます。

観光では、体験型観光のための観光商品の開発など観光資源の発掘や開発、PRに取り組むとともに、観光資源の連携による広域観光に取り組みます。

中心市街地活性化のための新町ビル跡地、にぎわい広場などの活用などによる商店街活性化の支援に取り組みます。

また、さまざまな機会をとらえて中津川市を全国に売り込むなどリニア開通による観光客誘致や道路整備など中心市街地への誘客に取り組みます。

移住・定住では、市外へ出て行ってしまった人のネットワークを作り、市外から見た中津川市のあり様を教えてもらうなど「故郷との絆」づくりに取り組みます。

また、転入された人が地域になじみやすい雰囲気づくりの啓発に取り組みます。

地域の活力を維持し、安心して生活ができるように住環境の整備や地域に根差した事業所の育成など地域産業の振興など取り組みます。